

南支那地方視察之一節

大阪市西區幼稚園視察團

去る五月十二日二週間の豫定を以て、私共大阪市西區幼稚園の保姆五名は、市からの出張命令を受けて、上海を中心として南京、蘇州、杭州に於ける幼児教育の一般を視て歸へりました。何しろ同行者が女計りの五名と言ふのですから、随分出發前には危なれましたが、幸にして前後十九日間、一行中唯一人の病者も出さず、至る處大歓迎を受けて、何の蹉跌も起らず元氣に神戸埠頭へ着いた時には、流石に重い荷を卸した感がいたしました。

▼計 劃

私共西區では豫てから南支那の視察に出かけ度いと言ふのが懸案になつて居りました。昨年の秋既に出發の豫定になつて居たので御座いますが、計らずも未曾有の關東大震災があつたので遠慮いたしました。漸く本年度さし入りの五月に實行したので御座います。で西區に十園あります内本年度は先づ其半數だけ參る事になり、残り五園は明年度即大正十四年度に實施される事になつて居ります。

▼組 織

五名の保姆は、先づ組織的の自治團を造りました。一行中の團長は江戸堀幼稚園の膳氏で、外交係は同氏と外に高臺幼稚園の上々手氏、會計係は鞆幼稚園の橋井氏と、日吉幼稚園の若井氏とで、記録係は松島幼稚園に居る不肖私(大道)といふ事になりました。

▼出發前の用意

出發前には、地理、歴史、風俗習慣、其他旅館から通貨、案内者等總ての注意と指導とを本市視學の武本謙吉氏に仰ぎ、萬遺漏無き迄に仕た筈で御座いました。そして市長から、上海總領事矢田氏と、外に大阪貿易調査所へ宛てた二通の紹介状を戴き、旅館は各方面の紹介で上海虹口の日本旅館、萬歲館に前以て依録状を出しておき、尙郵船會社の方へは、知名の人の紹介をえて是れも都合よく頼んでありました。ですから出發の第一歩からそれはく優待されて、氣持克く此の行を了へる事が出来ました。是れ全く市當局並に各位の御後援の賜物と深く感謝する次第で御座います。

さて幼稚園脚行が目的では御座いますが、何分外國幼稚園の事とて、相當の手續や紹介が必要なのと、其上言語が皆目分らぬので、嘔の旅行も同様、幸にして通譯の方があつても、斯道の人でないために、尋ねたことも、言ひたいことも思ふ様に通じず、幾多の不便を感じましたのは、全く己が罪であります。故に左に報じます事は見て來た事に過ぎません。百聞は一見に如かず」まあ御推斷下さいませ。

▼視た幼稚園

上海では英、佛、日、の三種を視た計りでアメリカの幼稚園を見る事の出来なかつたのは此上も無い残念でした。何分前述の通り手数が入ると、通譯の方の都合それに領事館でも幼稚園の所在地さへも明かでないため、(それ程幼児教育は等閑視されて居ます)此の方面の紹介も思ふ様に參られなかつたからです。

尤も支那人經營のものなどは上海には無いので、小學校は見ましたが、是れも日本人の經營する支那兒童の小學校なものでした。

南京では金陵大學の附屬幼稚園と、女子師範の附屬幼稚園とです。東南大學の附屬幼稚園に參りましたが、生憎其日は清潔デーなので何うしても見せて戴けませんでした。其他ば小學校を一寸視た位でした。蘇洲や杭州は時間が無いので此

方面の視察は出来ませんでした。

(便宜上紀行文を其儘、日誌體に報告いたします)

五月十五日・木曜日 晴

今日は外國幼稚園を參觀する日取になつて居るので、自動車を言ひつけて待つて居ると貿易調査所の大森氏が入らして下だすつた。領事館かららの添書を持つて、佛蘭西租界にある佛蘭西幼稚園を見に行つた。

佛蘭西幼稚園

同園は小學校に敷設されて居るのである。案内された應接室に待つて居ると大分程經て前の方が來て幼稚園に案内せられた。

室は三つ保母は三人それに助手一人、幼兒は全部で五十餘名年少組は拾七名、内男兒十一名女兒六名。

私達の顔を見ると主任の先生らしい此の組の保母は愛想よく挨拶してピアノに倚られた。マーチを弾かれると子供は馬蹄形に並べた小さい椅子に行儀よく就いた。すると先生は子供の中心に、同じ様な小さい椅子をおいて腰をかけられると出席簿を読み上げられた。子供は小さい可愛い、聲で返事をする。中の悪戯者らしい男兒が教卓の傍に立たされた。

口唱で歌詞を口授せられると、一同はオーム返しにそれに慣つた。言ひ難い處は幾度か「エゲーン」をやつて練習する。皆腕組なんぞして、自由な態度を取りつゝ、器用に眞似て居る。

次に椅子を各自持つて片付けると、支那人のアマが來て胡座を敷いた。一同は是れに脚を投げ出して座る。すると先生は、各目に組板だの積木だの飯事遊びの玩具などを適宜に與へて廻はられる。何れも一齊に遊び出した。

先刻から教卓によつて斷髮の美しい助手らしい保母さんが、各自の遊嬉の模様を記録して居られる。

先生はにこやかに私達の前に來て説明せられた。話の大意は次の如きものであつた。

佛國人經營の幼稚園だが、各國の子供が居るので、一番困るのは第一に言葉を教へてかゝらねばならぬことである故に此の組では主として英語を教へて、お互の意志が通じる様に骨を折つて居ることである。其他は各自の好むまゝに遊戯をさせて居る。そして此の年少組で相當話せる様になつたら次の組に入れる。次の組で英語が達者になると、次は佛語を授けるのである。兎に角三ヶ年間居る間に、英佛語の大體が分る様にするのであると。

是れだけを話してから壁に提けてある畫の帶模様になつたのや、切紙で白鳥を切抜いたのを同様帶模様貼つたものを示して「總て實際生活に適合した様にして居る」と言つて居られた。それから材料戸棚からラヒヤといふ蘆の葉を乾して着色した様なものを示して、これで色々の組物や籠の様なものをこしらへるのだと教へられた。

【年長組】年長組に入るとボールドに鳥籠に鳥が一羽止まつた畫を左上に書いて、佛語でこれの詩らしいものが數行書いてあつた。幼兒は二十名足らず。何れも、髮の毛の黒い肉付の好い小柄の先生を中心に、机や椅子を小學校流に並べて、そして先生の指すボールドの鞭の動くまゝに讀んで居る。丁度私達が英語の教授を受けた昔と一寸も變らない様な感じがした。

其後で先生がペーピオルガンによつて何かの曲を弾き出されると子供等は一齐に唱ひだした。それは今教つたボールドの詩をうたつて居るのである。かうして佛蘭西語のお稽古は行はれるのである。

【中間組】次の部屋は年少組の中間に位した組で、何の裝飾も無細長い陰氣な部屋に先生は英語を教へて居た。椅子の並べ方も年長組同様で何の變化も無く作業が作業だからではあらうが、是れが幼稚園かと思はれる位であつた。茲でも隣同様、板書を教鞭で指しつゝ口授して居た様子は全く小學教育の様に感ぜられて、何だかあつけなかつた。

【遊園】遊園は一列に並んだ保育室の前になつて居たが、別に大した備へつけの遊具も見えず、傍に西洋草花が麗に咲いた小さい花壇が一つある許りであつた。併し二百名以上の幼兒を持つ我々大阪の幼稚園には、是れだけの空地す

ら持つて居ない園のあるのに比べては、五十餘名の子供に、是れ丈の廣さがあれば結構だと思つた。厚く謝して出ると、小學校の女生徒が三々五々軽い服裝をして腕を組んで歩いて居るのを見て、何とも言へぬ清らかな自由な感じがして後振り返へられた。

【英國幼稚園】 英租界にある英人經營の幼稚園に行つた。門を入ると大きなボインター種の番犬が寐て居て、私達が入るとソツと立つて大人らしく後廻りしてついて來た。直ぐに保育室に案内された。室の大きさは約三十坪位で、椅子や机が半分以上其部屋を占領して居る。

丁度今保育最中で、若い先生が三十五六名の子供を相手に何か書いて居られた。茲でも各國の子供が居るさうで日本の幼兒も三四名見られた。机や椅子の並べ方は、前の幼稚園と同様で我國の小學校風である。教卓の前に小さい椅子を置いて其上に立つて居る女兒があつた。私達は前の例に慣つて又體罪でも受けて居るのかと思つたら、さうで無くて寫生のモデルになつて居るのであつた。注意して見るとクレオンを畫用紙になすつて頻りに書いて居る。中に印度人の子供と一人の子供とは一向興味無ささうに投げやつて居るのが目についた。

先生はわざ／＼日本の子供の頭を撫で、私達と其子供とを見排へてニツコリ笑つて居られた。中の三四人は後の床の上で脚投げ出して積木を遊んで居たが、意地のわるい日本のリツツルガールは、妙な顔つきをしたり、手眞似身振りをして積木を掠奪しやうとした。見て居て何だか嫌やな氣持ちかした。

先生は椅子に立つて居る女兒を席に返へすと、畫用紙をあつめてそれを戸棚に入れると、皆に椅子を持たせてピアノの傍に寄られた。唱歌なのである。一同はピアノに合せて唱つた。中には私達計り見て居て一向うたはないものもある。

主任の年老いた上品な先生が一々説明して居られたが、私達にはよく通じなかつた。お晝前なので別に遊園も見ず平凡な感じをしたまゝで宿に歸へつた。

▼水月學堂附屬幼稚園

晝食を終へると日本民團立小學校の井口氏が、水月學堂と、その附屬幼稚園を案内すると言つて來て下だすつた。

水月學堂及其附屬幼稚園は、内外紡績會社の經營で主として社員の子弟を收容して居る純日本の學舎なのである。規模の小さい割合に完備して居る。不思議な事には茲の校園長は阪口才之助氏と言つて、元京都師範の附屬小學校に御出でになつたので、自然私共の存じ上げて居る方だつた。顔を見ると、『矢張り私の知つて居る人だつたね』と言つて、一行が今度當地方視察に來る旨の記事が新聞に載つて居たので知つたと仰つて快く應接室に案内された。午後の事とて園児は居なかつたが、保姆の中澤さんと仰しやるのかいらして、始終何がと御親切に預つた。

此の會社の社長は河村といふ方で前社長の意志を續いて至極堅實な方針の下に事業をして居られるさうで、従つて社員の子弟を教育するに先づ小學部及幼稚園を建設し猶將來は、中學部をも建てられる事になつて居ると言ふお話であつた。それに感心なのは支那職工の子弟を教育するに、特に支那人の教師を弊して四百人以上の兒童の教養に盡くして居られる事である。

阪口校長の案内で、學堂の校舎を見まはつた。百二十名を收容する學校としては實に備つて居る。理科手工室、裁縫室音楽室等の特別教室迄ある。それに廣い遊園と植込泉池の結構を充分で無いが周圍の環境は實に立派なものであると思つた。

一週日の後此の幼稚園に母の會なるもの、發會式が開かれた。席上私共も案内されて出席したが、幹部の方の熱心には感心した。子供の爲めに雨の日も厭はず、朝早うから集まつた母姉の方は可なり多かつた。(下略)

五月拾三日 火曜日 曇

前略 上海紡績會社附屬幼稚園

南支那地方視察之一節

自働車は上海紡績會社附屬幼稚園の前で止まつた。茲には以前日本女子大學の附屬幼稚園に奉職して居られた松田権子さんと仰しやる方が居られるので、團長を通じて同姉にお目にかゝつたが、實に人格の高い立派な先生で、見るからに私共の缺點が見透かされる様で恥かしかつた。

園庭の廣い事、それに砂地の氣持よく美しい事、砂場の砂が丁度濱砂の様に細く奇麗なこと、試みに指先につまんで見たが、何一つ汚れが目立なかつたそれに羨ましいのは花園が廣くてよく世話が行届き美しい草花が咲き誇つて居る事であつた。

園兒は僅かに十五六名、使丁は支那人のボーイで先生がお一人、實に私共から見ると理想境の様に思はれた。

散々賞めておくと、後で此の方から『幼兒の少ないのを以て理想と仰しやつたが、當地の様に相當日本人が居るにも拘はらず、其子弟を幼稚園に入れやうとする人の少ないのは、全く幼兒教育を認められて居ない爲めである、只少ない園兒と、廣い園庭を見て理想境と仰しやらないで、狭い土地に足も立たない程入園者の多い御地の、教育思想の進んだ處を當地の人々に紹介して宣傳して欲しい』と言つた風の事を承はつて一同成程と感心した。

上海には以上二つの私立幼稚園の外に、日本居留民團立の附屬幼稚園があるが、常に松田先生はそれ等の中心になつて一同の修養に心懸けて居られる。

出立數日前の二十四日の土曜日に此の方の依頼もだし難く十名餘の保母さん方と一緒に遊戲の稽古をしたのは實に嗚呼がましい極みであつた。

今日は生憎保育を見せて裁く時間の餘猶がないので、只是れ丈でお暇しなければならなかつた。松田様には滞在中毎日御世話になつて全く御禮の申上様もない位、一同感謝して居ることである。

引止められたが待たしてある自動車で上海居留民團立小學校の門をくゞつた。校長長谷川氏は極めて敏腕の聲高き理想家で、御赴任後日未だ淺いにも不拘校舎内の設備や計劃が立派に出来て居た。

高等女學校の方に敷設された同校幼稚園に案内せられる二人の保姆さんは四十五名の幼児を熱心に保育して居られた。女學校に續いて居る丈に園舎や保育室に限定されて居けれども、幼児數に比して矢張り茲も遊園が思ふ存分なのは羨やましい。入園志望者は可なりあるらしく百四十五名は毎年あるさうだが、何分移民地なので、年に二百人内外の出入りがあると云ふ事であつた。保育料はと尋ねたら、三弗であると仰しつた。(下略)

五月十七日 土曜日 曇

南京の一夜は快く明けた。九時に領事館に伺ふ約束になつて届たが、それ迄に日本人の小學校を一つ參觀 やうと云ふので、八時過ぎにお出で下すつた五味氏の先導で二日目の馬車を藉つた(中略)

▼金陵大學附屬幼稚園

丁度好い時間に領事館についた、領事は晴々とした面持ちをして直ぐ夫人と御一緒に、お子様方の行つていらつしやる金陵大學の附屬幼稚園へ案内して戴いた。

畑續きの一劃に見るからに理想的な構へがある。領事館の裏から行けばつい其の下の方に見える。一同は裏木戸を通つて畑の中を行つた。十坪程の處に山羊が長閑な顔をして遊んで居る。此の幼稚園で飼育して居るのでお乳も絞るのださうな。よく肥えたたぶくした乳房を下けて居る。門を入ると直ぐ玄關で、板敷になつた三坪程の其處では既にプロンドの可愛い眼をした男の子が二人、大きな荒箱を家にして犬ころの様に其中に入つて積木で遊んで居た。

主任の先生は一見日本人に變らぬ顔立ちの方だが純支那婦人で、それは感じの好い美しい方である。並の好い齒く可愛らしいゑくほを見せて愛想よく私達を迎へて下だした。

保育室は二十坪餘のものが一つ他は手洗場や炊事場の様なものが保育室と隣つて向側にあるらしい。

室の内には二三ヶ所に机を並べて其の上には赤や黄色のチュリップが花瓶にさして置いてあつた。二三人宛机をかこんだ幼児は毛筆と繪の具それに繪の皿を持つて寫生をして居る。思はぬお客様に吃驚して、皆一齊に顔を上げて筆を止めた先生は何か仰しやつて其小さい机と椅子を片脇によせるとオルガンによつて何かのうたを弾き初められた。一同は先生を中心にオルガンの傍に脚投げ出して集まると唱ひ出した。次に子供の名を呼ばれると、呼ばれた女児は臆もせず一人宛出て行つて律動遊戲の様な事をした。

【お茶】 おうたや遊戲が暫く續くと、お茶の用意がせられた。牛乳とビスケットが出るのである。美しいコーヒー茶碗に牛乳とビスケットを盛つてアマが運ぶと、小さい御主人は一樣に咽喉をならして喜んだ。支那の子供も、日本の子供も英國の子も印度の子もと言つた風に、支那人の幼稚園でも各國の子供が居るが、お菓子に對するよろこひは一つである十七八の支那人の助手が一人ついて居た。主席の先生はアメリカに三年餘り留學して居られた學識の高い方で、吾々に對する態度も、子供の取扱方も本黨に圓熟していゝ感じを與へられた。支那婦人の中にもかうした勝れた人が近年は澤山あつて、寧ろ日本婦人の方が餘程後れて居ないかと思はれる様な點が澤山あつた。矢張茲でも語學が先きに立つので、食事の前に言葉や數を教へられた。

何よりも園舎が清潔で、落ついて居り、周圍は理想的で、しかも茲に遊ぶ子供の家庭が皆上流の子供計りなので、私共の幼稚園などは比較にならぬ。幼児數は十五六名、年齢は滿二才から入園させられるさうである。保育料は三弗、他にお茶料とし一弗を受けて居るとのお話であつた。(中略)

東南大學の附屬幼稚園を見るべく領事館の添書をそへて刺を通じたが、『今日は生憎大掃除で參觀は出来ぬ』と断られた見ると門扉に『本日大掃除につき參觀謝絶』の旨が書いて貼つてある。『設備だけでも好いから』と言つて見たが駄目だつた

そこで女子師範に行く事にした。

▼女子師範學校附屬幼稚園

制服の師範生徒が三々五々門を出たり、入つたりして居る。其服装の輕やかで清楚な事、それに見た處一寸も普通の支那人の着川するものゝ様にくつついて居ないで、ゆるやかで、本當に氣持好い。髪の上げ方も女學生流、西洋流で前髪は垂れて居るけれども油氣なしの束髪であるのも氣持ちよい。

主任の先生が病氣缺勤なので、若い先生が教生を澤山指揮して歸宅前の會集らしかつた。廣い遊戯室に椅子を圓形にしてお唱歌をうたつて居た。當番で無い教生が周圍に立つてそれをみて居る。先生は一々立つて行つては注意を與へそしてピアノに倚つてマーチを弾かれるマーチは私達の耳にあるもの計りであつた。進行曲本を見ると、支那のうたを附しただけの相違で何等變らない。中々上手な手つきである。取扱方や、遊戯の指導振りが、日本流なので何だか親しみ深く感じた。聞くと主任の方は東京女師範の出身であると言ふ事であつた、成程と思つた。

壁に貼つた畫き方も、其排べ方も別に興を引かなかつた。兎に角、支那人の子弟が百四五十名、かうして教育されて居ると思ふと、心強く感ぜられた。(下略、以上)

附記

視察の個所は前述の如く極めて一小部分に過ぎませんが、まだ視ぬ世界を見て、成程と感心もし、力強くも思つれ事は有難い土産でありました、視て來た丈の事を極めて無調法な書方で報告しなければならぬ罪は全く私にあるので御座います。何うぞ御推讀下さいませ